

2017年度 交換留学 留学報告書

国際交流学科 3年

留学先：韓国 徳成女子大学

留学期間：2017年3月～2017年12月

1年間の留学を通して、様々な人との関わり方、語学、様々な文化を感じ学んできました。留学に行く前から語学、文化について学んでいましたが、実際に韓国で触れ学ぶものとは、違うものや新しいものがありました。毎日が本当に刺激的で、大学時代一番有意義な時間になったのではないかと思います。

留学中に、一番大きな影響を受けたのは Outlookie という、在韓留学生と韓国人の約100人が1年間一緒に韓国の文化を体験しながら親交を深めお互いの文化も理解する活動でした。申請書を書き通過すると面接を受け選抜されるもので、選抜が4月ごろで韓国に着いて2か月ほどでしたし、韓国で面接を受けるのも初めてだったので緊張しました。寮の友達が申請書の韓国語のチェックなど協力してくれました。活動では、毎回ソウルだけではなくチェジュ島やピョンチャンなど様々な地域に行き、その土地の文化にも触れました。また、各国の留学生と互いの文化の話から、たわいもない話までたくさんのお話を交わし、文化や考え方の違いを理解することができました。また1年間、主に1泊2日の日程と一緒に活動し、活動以外でも遊びに行ったり連絡を取り合ったりすることができる、すてきな仲間たちに出会ったと思っています。

授業では、語学堂や言語の授業等の留学生向けの講義ではなく、一般学生が履修する講義だったので、板書されなかったり、わからない単語が出てきたり、語学の授業のようなわかりやすい話し方ではなかったり、苦労することが多かったのですが、日々の会話や勉強で慣れていきました。夏ごろからモンゴル人のルームメイトと一緒に暮らしていたこともあり、日本語をほとんど使わず、すべて韓国語で生活していました。発音やイントネーションを友達に直してもらったり、本当に韓国語漬けになっている状態が私に合って、韓国語能力の向上に役立ったと思います。

韓国にいるときは、日本にいる以上に積極的に外に出たり、いろいろなプログラムに参加したり、サークルに入ってみたり、たくさんの方に挑戦しました。気分がいいとは言えない外国人扱いを受けることなどもあったのですが、本当に親切で優しすぎるような人にも出会い、様々な人に出会い様々な文化に触れることができ、自分の成長にもつながったと思います。留学に行くことや海外に出ること、異文化に触れることを少しでも考えている人は、本当に成長できる時間になると思うので、積極的に挑戦して行ってほしいなと思います。